

## 平成16年度高次脳機能障害支援モデル事業 年次報告 (北海道・札幌市)

平成16年度から実施している2カ年のモデル事業では、平成13年度から15年度において国が作成した、「診断基準」と「訓練プログラム」「支援プログラム」を検証し、評価基準やプログラムを普及させ、地域における高次脳機能障害者への支援システムの整備を図ることを目的としている。平成16年度は、国が作成した「診断基準」と「訓練・支援プログラム」を地域に普及するとともに、登録症例の検討を行った。平成17年度は登録症例の支援から「診断基準」と「訓練プログラム」「支援プログラム」の検証及び評価を行い、地域における支援体制を検討することとしている。

### 【事業内容】

#### 1. 高次脳機能障害者支援体制整備推進委員会

委員会は学識経験者、支援拠点機関、リハビリテーション施設、当事者団体、障害者職業センター、その他専門職からなる委員で構成し、委員会には専門部会を設置している。委員会では、支援拠点機関における診断や機能回復訓練、社会復帰支援等の実践とその検証が円滑かつ効果的に実施できるよう登録症例の検討を行うとともに、地域における支援体制整備について検討した。

##### (1) 委員会の役割

- ・支援症例の選定及び個々の支援ニーズの評価
- ・事業の実施状況の分析・評価
- ・地域の実態把握、関係機関との連携

##### (2) 構成員 15人

##### (3) 開催状況

委員会 第1回 平成16年6月22日(火)

- ・平成16年度高次脳機能障害者支援システム整備事業の実施計画について
- ・支援症例について検討

第2回 平成17年2月18日(金)

- ・高次脳機能障害者支援体制の検討

専門部会第1回 平成16年9月21日(火)

- ・支援拠点機関の支援事例の取り組みについて
- ・今後の専門部会の取り組みについて

## 第2回 平成17年1月21日（金）

- ・登録症例支援内容の検討
- ・地域のネットワークづくりについて

### 2. 支援コーディネーター事業

支援拠点機関は、関係する障害者施設や家庭等と連携し、高次脳機能障害者の機能回復訓練の他、社会復帰支援や生活・介護支援のためのプログラムを実践し検証するため、支援拠点機関に支援コーディネーターを配置し、障害者施設や家庭等に派遣した（札幌市委託事業）。

支援コーディネーターは、高次脳機能障害者支援体制整備推進委員会が円滑に運営できるよう配慮するとともに、①国立身体障害者リハビリテーションセンターが設置する地方拠点病院等連絡協議への参加、②関係する障害者施設、家庭等との連絡調整、③その他、事業を円滑に実施するための諸業務を行い、本モデル事業の効果的推進に努めた。

また、支援コーディネーターは、支援拠点機関が実施したリハビリテーションプログラムや処遇内容等を取りまとめ、高次脳機能障害者支援体制整備推進委員会に諮った。

- (1) 支援拠点機関 北海道大学病院リハビリテーション部
- (2) 支援コーディネーター ケースワーカー1名
- (3) 登録支援事例 平成17年3月末時点 34症例（継続25症例・新規8症例）
- (4) 相談活動状況 実94件 延500件
- (5) 関係機関連携 35件 ※医療機関との連携が半数を占める

### 3. リハビリテーション提供・地域生活支援事業

精神障害者社会復帰施設等は、支援拠点機関、関係する障害者施設や家庭等と連携し地域における高次脳機能障害者の社会復帰支援システムの確立に努めた。

このため、精神障害者社会復帰施設等は、精神保健福祉士等を配置し、次の事業を実施した（北海道と札幌市が1ヶ所ずつ委託）。

- ア 関係機関相互の情報交換
- イ 地域における社会復帰支援システムの確立
- ウ 精神障害者社会復帰施設等は、支援拠点機関と連携を図りながら、社会復帰のための指導・訓練プログラムを策定し、指導・訓練等の実施。
- エ 精神保健福祉士等は、精神障害者社会復帰施設等で実施した指導・訓練プログラムや処遇内容等を取りまとめ、高次脳機能障害者支援体制整備推進委員会に諮る。

(1) クラブハウスコロポックル（札幌市委託事業所）

ア 登録支援事例について

- ・登録症例 5 症例
- ・支援内容 就学準備支援 3 症例 就労準備支援 2 症例

イ 相談活動状況

- ・相談件数 延 285 件

(2) 札幌デイ・ケアセンター（北海道委託事業所）

ア 登録支援事例について

- ・登録症例 2 症例
- ・支援内容 就労準備支援 2 症例

イ 相談活動状況

- ・相談件数 延 30 件

4. 普及啓発事業

北海道と札幌市が実施した3年間のモデル事業実績報告書（「平成13年度～15年度高次脳機能障害者社会復帰支援モデル事業実績報告書」）を作成し、市町村、保健所、病院、関係機関へ配布し、国が作成した「診断基準」と「訓練プログラム」「支援プログラム」について周知を図った。

北海道高次脳機能障害者支援体制整備推進委員会委員名簿

	氏 名	所 属	職 名
委員長	眞野 行生	北海道大学大学院医学研究科 機能再生学講座（リハビリテーション医学分野）	教授
委員	生駒 一憲	北海道大学大学院医学研究科 機能再生学講座（リハビリテーション医学分野）	助教授
委員	小山 司	北海道大学大学院医学研究科 精神医学講座	教授
委員	久住 一郎	北海道大学病院精神科	講師
委員	高橋 三郎	札幌ディ・ケアセンター	所長
委員	篠原 節	クラブハウス「コロポックル」	副代表
委員	中野 匡子	脳外傷友の会「コロポックル」	代表
委員	池田 輝明	市立小樽第二病院	副院長
委員	大島 峻	医療法人財団敬和会時計台病院	名誉院長
委員	堀 享一	北海道大学病院リハビリテーション部	技師長
委員	須藤三千代	北海道大学病院リハビリテーション病	副看護師長
委員	坪田 貞子	札幌医科大学附属病院リハビリテーション部	主任技師
委員	佐藤 美智	（社福）せらび就労センター	センター長
委員	小池 澄子	医療法人中村記念病院 リハビリテーション技術部	言語聴覚士
委員	島崎 敏彦	独立行政法人高齢・障害雇用支援機構北海道障害者職業センター	旭川支所長